

新政あつぎ

5人の多彩な経験と徹底した
市民目線を持って、
市議会の変革と創造に努めました。
その一端をご報告致します。

安心安全なまちづくりを目指して

石井よししたか



台風15号・19号は、全国各地に甚大な被害をもたらしました。時間の経過と共に、被害の全容が明らかになってきています。会派を代表して、被災され尊い命を失われた

方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、未曾有の被害を被った皆様の一日も早い復旧復興を願わずにはいられません。今回の災害は、想定を遙かに超えた風水害で、災害対策のあり方や河川管理など、さまざまな課題が、明らかになってきています。そこで、12月の定例会議では、防災対策

策等の視点から、市民の皆様と行政が共有する課題について、質問と呼びかけを行う所存です。9月の定例会議では、地域集会所施設の老朽化による諸課題を問いました。修繕を行う際、多額の費用が発生し自治会として現在の市からの補助率の支援では賄いきれない現状の指摘、また、地域集会所施設は、公共施設に準じたものとして位置づけられており、この点からも、補助率の見直しの見解を問いました。市から

は状況に応じて、対応していく旨の答弁がありました。次に、夏場の熱中症対策について質問しました。学校の体育館や地域体育室に、安価で簡易な窓かけ式の空調機を設置し、利用者から好評である他市の成功事例を紹介し、市として設置するよう求めました。現時点で明確な答弁は得られませんが、今後も粘り強く、市民の皆様への安心・安全快適な生活環境づくりに取り組んでまいります。

きめ細やかな子育て支援を目指して
子ども食堂の将来は？
もちづきまみ

2期目の任期が始まり、最初の9月定例会議、一般質問を行いました。取り組みを始めて4年目となる「子ども食堂」について、厚木市の事業体制や事業としての位置

不登校児童生徒の欠席は、その先の進学等に影響を及ぼす可能性があります。現在、子育て中だからこそ実感している「親の情報格差」、「進学の様々な情報は子ども達や親に届いているのか」、「不登校でも、独自の学びをしている子ども達を出席と扱えないのか、どうしたら出席になるのか」、課題山積の中、まずは出席の扱いについて、教育委員会にガイドライン作成を要望しました。子どもたちのために

あなたの自転車は大丈夫？ 自転車損害賠償責任保険等の加入義務化

あらい啓司



9月定例会議において、戸地方裁判所が自転車事故を起した少年の母親に約9500万円の高額賠償を命じた判例は皆様ご承知のとおりです。自転車利用者の多くは、保険に未加入であることが懸念されます。神奈川県条例施行を受け、この間、市はあらゆる機会と媒体を通して、周知と啓発に取り組んでいるとの

答弁がありました。駅前のデジタルサイネージによる動画配信はその一つです。ご家庭では「あの時保険に加入していれば」などの後悔を生まない先を見据えた取り組みが肝要です。さらに、質問の中で明らかになった一つに「子ども用の自転車乗車時におけるヘルメット着用率」があります。学校や交通関係団体をはじめ、関係者の皆様の根強いご努力と保護者の交通安全への願いのもと、高い着

用率・所有率となっております。しかしながら、中学生の自転車乗用ヘルメットの着用率向上が、課題であるという答弁もありました。「自分の子どもは、大丈夫！」という漠然とした安心感を捨て、大人が全てのお子さんに我が子同様のこととして交通安全に限らず、関心を持って取り組んでいくことが、重要です。今後も、子どもたちの健やかな成長を願ひ、安心・安全な社会環境づくりに努めてまいります。

災害時の避難情報を確実に市民に届けるには？ 新型防災ラジオの普及促進を

高村しんわ



9月の定例会議において、①市庁舎の建替計画の市民への十分な情報提供、②新型防災ラジオの普及促進の重要性について一般質問しました。市庁舎の建替は、現

庁舎の老朽化・狭隘化と災害対応力の強化を主目的に、昨年9月に基本構想が策定され、10月下旬から厚木市複合施設等整備基本計画(案)としてパブリックコメントが実施されます。この実施に先立ち、一般質問では、①周辺整備を含めた全体構想と全体費用、②人と車の動線管理、③中町立

新型防災ラジオは、災害時でも音声で明瞭で聞きやすく、停電時でも乾電池で使用可能な優れた情報機器です。聞き直し機能も備えています。今年も九州北部を襲った集中豪雨、2度の大型台風により全国で甚大な被害が発生しました。「風雨で防災行政無線が聞こえない」「停電でテレビや携帯電話が使用できない」など緊急の場合に強みを発揮しますので、高齢者や障がい者のいる家庭を中心に有償配布の価格を引き下げるなどの普及促進の重要性を訴えました。「心豊かで活気溢れるまちづくり」、「安心安全なまちづくり」を推進するため取り組んでまいります。



新型防災ラジオ

厚木にパークゴルフ場を 高橋ともみ



ランニングコストゼロの健康増進施策の可能性
中井町パークゴルフ場の視察・調査を通じて、年間10万人以上の利用があり、1回200円の利用料収入により黒字経営であることが判りました。また厚木周辺には認定コ

ースが無く、整備を通じて多くの利用が期待できると考え、一般質問でグラウンドゴルフやパークゴルフなどの施設整備について質しました。グラウンドゴルフについて、本市で大変盛んなスポーツであり、専用施設を整備すべく調整しているとの進捗が示されました。これを要望する声

も伺っていますので、この促進は理解します。一方パークゴルフについて、市からはルールがシンプルで子供から高齢者まで人気のスポーツであるが、コース整備には広大な用地の確保が課題であり、調査研究を進めていくとの見解でした。今後少子高齢化がさらに進み市の財政運営も厳しさを増すことが予想されます。年間10万人規模でのスポーツ促進、外出機会の創出による市民の健康増進施策でありなが



中井町中央公園パークゴルフ場

障がい者歯科医療の現状と課題

— 歯科保健センター視察報告 10.17(木) —

厚木歯科医師会のご協力のもと、歯科医・麻酔科医を含め4名体制で行う静脈内鎮静法(IVS)による、障がい者への歯科診療の現場を視察、意見交換を行いました。このIVSを用いた障がい者への歯科診療件数は'17年から'18年で約2倍に増えているものの、治療を希望する方は約2ヶ月待ちとのことであり、高いニーズがあることも判ります。

意見交換会を通じて、①障がい者歯科医療に携わる若手の育成、②歯科衛生士の不足、③予防歯科医療の充実の必要性、④社会の超高齢化を見据え、患者の移動手段の確保及び、歯科と医科の連携強化の必要性、⑤歯科医療への支援の維持向上。などの課題の把握と共有を図ることが出来ました。会派議員一同、引き続きの歯科医療の充実の必要性を再確認しました。

複合施設等整備基本計画(案)について

新しい市庁舎を含む複合施設の建設に関する同基本計画(案)のパブリックコメントが10月21日~11月29日の間で行われています。

会派新政あつぎは、新市庁舎、新図書館などからなるこの複合施設の計画にあたり、まちづくりの全体像・将来像(ランドデザイン)を示した上で、その一環として計画することを市に求めています。ランドデザインは、この複合施設の建築予定地(中町第2-2地区)だけでなく、文化会館や現市庁舎跡地、駅利用者の動線やまちの回遊性などを含めたものとし、市街地の活性化とまちの防災力の観点から示したものです。建築費用だけでも224億円を要するプロジェクトであり、ランドデザインに基づいた慎重かつ、多くの市民の声に応える、再開発となるように引き続き求めてまいります。



中町第2-2地区